

## トピックス

### ● 中瀬製錬所設備保全場の更新-安全・安定操業に貢献

当社の創業から間もない1936年に木造で建築された中瀬製錬所(兵庫県養父市)の設備保全場はこれまで当社の成長を支えてきましたが、老朽化が進んできたことから、更新を実施いたします。

隣接するコンプレッサー室や設備資材倉庫なども含めて更新を行い、作業性向上のための設備導入や設備資材置場の集約などを行うことで工程の短縮や作業の効率化を図り、コストダウンを実現するとともに、設備の安全・安定操業に貢献してまいります。



(中瀬製錬所 設備保全場)

### ● 鉄系合金粉生産能力増強に向けた増築工事着工

子会社の日本アトマイズ加工株式会社つくば工場(茨城県牛久市)では、メタル系パワーインダクタ向け鉄系合金粉の生産能力増強に向けた建屋の増築工事を着工いたしました。

増築の竣工予定は2023年12月、増産設備の稼働開始は2024年4月と、当初計画通りに進んでおります。

電動化・電装化が進む自動車分野や5Gスマートフォンなどを中心に高機能が求められる通信機器分野などでの中期的な需要拡大に対応してまいります。



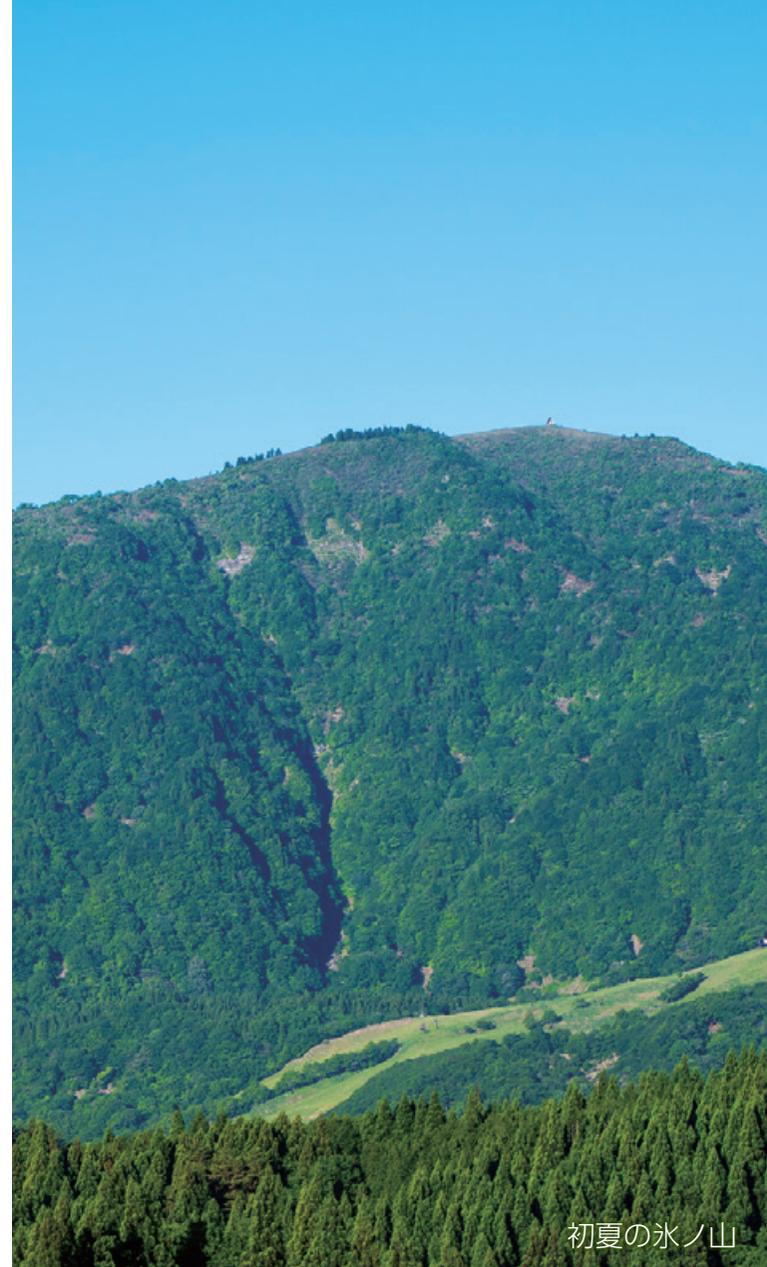
(つくば工場建屋増築地鎮祭 2023年4月)

## 会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
従業員数	連結 245名 単体 88名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711 (フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< <a href="https://www.nihonseiko.co.jp">https://www.nihonseiko.co.jp</a> > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



初夏の水ノ山

# 第128期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

## 株主の皆様へ

日本精鉱グループは  
グループ力を発揮し、  
持続可能な事業の  
成長に向け、  
チャレンジします



代表取締役社長  
植田 憲高

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第128期(2022年4月1日～2023年3月31日)においては、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方、円安の進行やウクライナ情勢の長期化に伴う資材・エネルギー価格の高騰、金融資本市場の変動などにより、国内外の経済の先行きは不透明な状況にあります。また、DXの進展などから引き続き電子部品のニーズは高まっていますが、巣ごもり需要の反動減や物価高などから、スマートフォンやPCなどの情報機器向けでは、需要が大きく減少しました。

このような環境下、当社グループは「グループ力を発揮し、持続可能な事業の成長に向けて、チャレンジし続ける Challenge for Sustainable Growth」をスローガンとする中期経営計画(2022～2024年度)を当期からスタートさせ、事業活動に取り組んでおります。

こうした取り組みの結果、当期の連結売上高は前年度比6.9%減収の15,923百万円、営業利益は同63.4%減益の802百万円、経常利益は同64.8%減益の791百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同68.7%減益の481百万円となりました。

なお、当期の期末配当金は、1株当たり60円とさせていただきます。中間配当金と合わせ、1株当たり120円(前期比△20円)となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2023年6月

## 連結財務ハイライト

### ● 売上高

15,923百万円



### ● 営業利益

802百万円



### ● 経常利益

791百万円



### ● 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

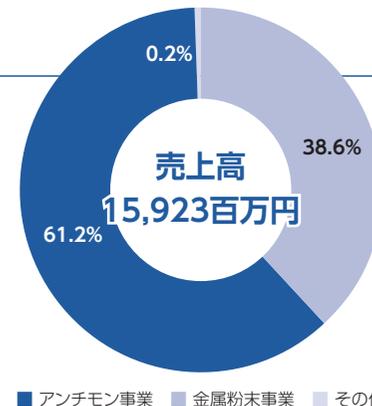
481百万円



## セグメント別概況(連結)

### ● アンチモン事業

プラスチック材料の難燃剤が主用途の三酸化アンチモンは、火災防止のために車や家電、産機、住宅など広範な産業分野で使用されます。国内顧客の在庫調整や海外市場での需要低迷により販売数量が減少しましたが、円安と原料地金相場上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年度比16.3%増収の9,737百万円、セグメント利益は、同1.3%増益の781百万円となりました。



### ● 金属粉末事業

スマートフォンやPCなどがオンライン需要の一巡、中国市場の低迷、物価高による買い控えなどで需要が急減し、電子部品向け金属粉末の受注が大きく落ち込みました。粉末冶金向けも、自動車分野での生産調整の影響を受け低調となりました。売上高は前年度比29.2%減収の6,154百万円、セグメント利益は操業度低下や電力料金値上げなどの影響で、11百万円のセグメント損失となりました。

## 連結財務諸表

### ● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2023.3.31)	前連結会計年度 (2022.3.31)
資産の部		
流動資産	8,829,084	9,793,667
固定資産	5,124,839	5,046,406
(有形固定資産)	4,561,560	4,469,011
(無形固定資産)	149,773	111,046
(投資その他の資産)	413,505	466,348
<b>資産合計</b>	<b>13,953,923</b>	<b>14,840,073</b>
負債の部		
流動負債	3,467,328	4,510,626
固定負債	1,077,724	1,030,855
<b>負債合計</b>	<b>4,545,052</b>	<b>5,541,481</b>
純資産の部		
株主資本	9,370,743	9,255,020
その他の包括利益累計額	38,127	43,571
純資産合計	9,408,871	9,298,591
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,953,923</b>	<b>14,840,073</b>

### ● 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2022.4.1～2023.3.31)	前連結会計年度 (2021.4.1～2022.3.31)
売上高	15,923,384	17,097,801
売上総利益	1,925,020	3,282,838
営業利益	802,976	2,191,550
経常利益	791,479	2,246,578
税金等調整前当期純利益	790,280	2,243,891
当期純利益	481,850	1,540,990
親会社株主に帰属する当期純利益	481,850	1,540,990